

令和元年度第3回産業衛生技術部会企画運営委員会 議事録

日時： 令和元年 12 月 22 日(日)13:30～16:30

場所： 東京八重洲ホール 514 号室

出席者： 落合孝則, 加藤隆康, 久保田裕仁, 津田洋子, 齊藤宏之, 中原浩彦, 中元健吾, 中村憲司, 橋本晴男, 宮内博幸(敬称略, 五十音順)

議題

1. 第 2 回産業衛生技術部会企画運営委員会 議事録承認
2. 第 93 回学会(旭川, 2020/5/14～16)について
3. 第 30 回全国協議会(鹿児島, 2020/11/20-22)について
4. 第 94 回学会(松本, 2021/5/19-21)について
5. 産業衛生技術部会幹事について
6. 企画運営委員の補充について
7. 奨励賞候補について
8. その他

1. 第 2 回産業衛生技術部会企画運営委員会議事録について, 原案通り承認された。

2. 第 93 回学会(旭川, 2020/5/14～16)の企画について
以下の議論を行い, 承認を得た。

1) 幹事会: 5/15(金)12:00～13:00, 第 16 会場(予定)

2) 総会: 5/15(金)13:30～14:30, 第 5 会場(予定)

3) 産業衛生技術シンポジウム

「現場における有効な熱中症予防技術について」, 5/15(金)9:00～11:00, 第 5 会場

座長: 齊藤宏之

1) 加部 勇(クボタ) 製造業における熱中症予防対策の実践

2) 増田幸宏(芝浦工大)・望月計(タニタ) まちづくりと熱中症対策

3) 柳田信也(東京理科大) 消防活動中の熱中症予防法の検討－暑熱環境におけるアイススラリーの身体冷却効果－

4) 仲吉信人(東京理科大) 低消費電力無線ネットワーク LPWA とウェアラブル環境センサを用いたオーダーメイド型熱中症リスク評価

その他:

- ・ 温熱環境研究会へも PR をする。

4) 専門研修会

「作業現場における遠隔管理手法について」, 5/16(土) 10:10～12:10, 第5会場

座長: 橋本晴男

1) 宮内祐介(中災防) 測位システムを活用したばく露位置. モニタリングの試み

2) 赤川宏幸(大林組) 生体情報を用いたクラウドベースの作業員向け安全管理システム(仮)

3) 笠井泰彰(大林組) 建設業における WBGT の遠隔管理の実際

4) 西尾信彦(立命館大) 屋内測位と位置情報(仮)

5) その他

- ・ 非会員演者の旅費・謝金の負担について, 今回の技術部会主催行事における演者の非会員率が高いことから, 旅費・謝金の学会負担が難しい可能性がある旨, 吉田学会長より指摘があった。
 - 旅費・謝金の扱いは学会ごとに異なっている(今回は, 参加費は学会負担だが, 旅費・謝金の負担は困難)。
 - 今回は部会にて旅費・謝金を負担する。

- 謝金額はとりあえず二万円とする(三万円を超えるとマイナンバーが必要)。
 - 旅費については試算結果ではなく、実際にかかった額を精算する方針。
 - 非会員演者について、学会員になってもらうことが理想だが、そのためには学会にフルに参加してもらって、学会の雰囲気馴染んでもらうことも必要との意見が出た。
 - 近くなったら、中村さんから打診する。領収書と搭乗券半券等を準備するようお願いする。
 - 企画が決まったら広報活動を行う(部会 Web ページ, 学会メルマガ, 遠隔管理研究会, 温熱環境研究会など)
- ・ 今後、技術部会の残金の使い方をどうするかについて以下の意見が出た。
 - 他部会でも予算が余っていると聞いている。
 - 技術部会のみ会費とっていない。
 - 使途案として…参考として東海地方会では写真のアーカイブの作成を行っている。このようなものを検討するのはどうか？
 - 技術部会の場合は講師が外部になる可能性が高いので、旅費・講師としての支出は妥当。
 - 学会員の場合は支払えないので、所属先からの手当がなければ自腹になる可能性。外部講師であれば支払えるというメリットも。
 - 今後は学会の実行委員として技術部会関係者に入っていただく方が良いのでは？

3. 第30回全国協議会(鹿児島, 2020/11/20~22)について 以下の議論を行い、承認を得た。

1) 第二回幹事会(拡大幹事会として開催予定)

2) 産業衛生技術シンポジウム

- ・ 臨床心理研究会との共同シンポジウムとして行う方向で、長見幹事(関西福祉科学大学)と調整中。
- ・ パワハラ防止がテーマで実施され、3名+1名を検討中。
- ・ 三次予防と限定しないほうが良いとののでは。
- ・ 衛生管理者との係りもお願いしたい。
- ・ 以下の構成で進めたい。
 - 基調報告：全体像
 - 産業医、衛生管理者の立場から：中元先生
 - カウンセラーの立場から
- ・ 質問者をお願いしておいてはどうか。
- ・ 追って長見幹事に提案して内容を考える。

3) 専門研修会

テーマ:「九州地方における事例報告(仮), 座長:原邦夫

4) その他

- ・ 協議会側で保護具についての研修を検討中。講師やファシリテーターとして中村憲司(労働安全衛生総合研究所 作業環境研究グループ), 樋上光雄(産業医科大学 産業保健学部), 山本忍(産業医科大学 産業保健学部)の案あり。
- ・ 産業栄養研究会とのコラボについて、田畑幹事経由で由田先生(大阪市立大学, 産業栄養研究会世話人)と調整(今後の企画としての検討課題)
- ・ 原邦夫部会員より「許容濃度委員会を中心に行われている、今後の生物学的モニタリングや、皮膚吸収についての話題はどうか」との提案あり。皮膚吸収についてはクリエイティブツールに入っている。AIHAの情報を得ながら今後の検討課題として検討する。
- ・ 4部会合同企画も進めたい。来年は「高齢化への対応」なので、技術部会からも人を出す。仙台の4部会合同の反省として、4部会のシナジーが不十分であったことから、より部会のシナジーを追求すべき。
 - エルゴノミクスの観点で転倒はどうか？

- ・ 候補者として大西先生(安衛研), 片岡先生(豊田自動織機)の2名。
- ・ 協議会の今後のスケジュール: 3月頃にプログラム確定予定。

4. 第94回学会(松本, 2021/5/19-21)について

- ・ 例年通りだと, 8月~9月頃から企画案の募集が始まると思われる。
- ・ 今すぐに決める必要は無いが, 企画案の候補を幾つかリストアップしておく必要がある。

5. 産業衛生技術部会幹事について(報告)

- ・ 技術部会名簿が更新されていなかった点について, 名簿は既に訂正を行い, 4部部会において, 技術部会長から12/21に説明がなされたとの説明があった。

6. 企画運営委員の退任ならびに補充について

- ・ 大西委員(安衛研)より退任の申し出があり, 承認された。
- ・ 新たな候補者についての提案があり, 承認された。
 - 中村修(筑波大学安全管理室長, 教授), 橋本部会長より推薦。
 - 飯田裕貴子((株)環境管理センター アスベスト対策部長), 齊藤委員より推薦。
- ・ 今後, 分野の偏りが無いよう, 引き続き候補者を探す必要がある。

7. 奨励賞候補について

- ・ 奨励賞のルールは確定したことを確認した。
- ・ 候補者として, 津田先生, 菅沼先生が挙げられた。
- ・ 津田先生: 野原先生に推薦者になってもらう。
- ・ 菅沼先生: 発表回数が規定を満たしているか確認し, OKであれば, 榊原先生に推薦者になってもらう。

8. その他

- ・ 引き続き, 部会への入会の促進を図る。
- ・ ANOHの概要報告(橋本): 参加者約250名のうち, 日本から37名参加があり, 企業展示全10件中5件が日本の発表だった。来年はIOHAと共同で韓国大邱にて10月に開催予定。報告書は学会HPにも掲載する。技術部会恣意積極的な参加が望まれる。
- ・ 関東地方会での情報: 今後, 発表において, COIの観点から企業名や商品名を出さないという意見が出ている。理事会でガイドラインが承認されたが, 公式には旭川の総会で決定される見込み。
- ・ 個人サンプラーの動向: 医部会とは, 個人サンプラーを「場の測定」として用いるのは問題があるという認識を持っており, 学会として, 今後の方向性に意見書を出すべきで, 技術部会としても協力することが紹介された。

以上。